

教育委員会事務の点検・評価報告書

(平成23年度対象)

平成24年9月

萩市教育委員会

■ 目 次

1 萩市学校教育の基本方針1～5
2 教育委員会事務の点検・評価について6
(1) 趣 旨	
(2) 点検・評価の対象事業	
(3) 点検・評価の方法	
(4) 点検・評価の結果	
3 平成23年度事業点検・評価について6
<事業点検・評価シート>	
・ 特色ある学校づくり推進事業7
・ 確かな学力育成事業8
・ 児童生徒支援事業9
・ 外国語指導助手派遣事業10
・ 学校施設耐震化事業12
4 教育委員会の活動について13
○ 添付資料13

基本方針

21世紀の萩らしい教育の推進 自然、歴史、文化をいかした心豊かなひとづくり

中心目標

ふるさと萩市を誇りとし、夢や目標を抱きながら、
生きる力をもった子どもを育成する。

重点目標

創意と活力に満ちた特色ある学校づくり

拠点校（コアスクール）構想

新・萩市学力向上推進プロジェクト

- 1 ふるさと萩市を誇りとする
子どもを育てます
- ふるさと学習の展開
 - 「松陰教学」の推進

- 2 学力の向上を図ります
- わかる・できる授業の実践
 - 新学習指導要領の実施・移行

- 3 豊かな心を育みます
- 道徳教育の充実
 - ボランティア・体験活動の推進

- 4 健やかな体を育みます
- 基礎体力の向上
 - 望ましい生活・運動習慣の形成
 - 食育の推進

- 5 保護者や地域に信頼される
学校づくりを推進します
- 開かれた学校づくり
 - 学校評価の充実

- 6 教育の専門家としての
教師を育成します
- 校内研修の充実
 - キャリアステージに応じた人材育成

知・徳・体・食の調和のとれた生きる力の育成

“拠点校(コアスクール)構想”

地域や学校の特色を鮮明にした教育を推進するため、特色ある教育活動推進拠点校(コアスクール)を設定し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進します。

「私たちの学校は、〇〇教育の拠点校(コアスクール)です。」

子ども、保護者、地域の実態を踏まえ、学校の課題を明らかにします。



小・中連携
地域との連携

「先生が変われば、学校が変わる、子どもたちが変わる、地域が変わる。」という強い意識をもちます。

- 英語教育、授業研究交流
- コミュニティ・スクール

ふるさと学習
体験活動

- 伝統文化継承
- 国際理解教育
- キャリア教育
- 環境教育



学力向上

- 確かな学力、国語力
- へき地・複式教育
- 読書活動



授業力向上

- 基礎基本と活用
- 指導と評価
- 個に応じた指導
- 少人数指導



心の教育
特別支援教育

- 道徳教育
- ボランティア活動
- 松陰教学
- 個に応じた相談活動



P・D・C・Aのマネジメントサイクルを生かし、創意と活力に満ちた活動を展開します。

体力向上
食育・健康教育

- 体づくり
- 遊び・スポーツ
- 食習慣、生活習慣



諸便りや会合、学校HP等で、実践活動や成果を公開します。

平成23年度 萩市立小・中学校コアスクール一覧

学 校 名	“〇〇の拠点校” 特色ある教育活動の実践
明倫小学校	松陰教学 一人ひとりの課題に応じた教育
椿東小学校	地域や地域の偉人の生き方に学び、地域を愛するふるさと学習 食育教育
越ヶ浜小学校	学力向上・ふるさと教育
椿西小学校	コミュニティ・スクール
白水小学校	自然・人・地域とのふれあい教育
木間小学校	小・中連携教育
三見小学校	小中連携教育・ふるさと学習
大井小学校	一人ひとりを大切にした特別支援教育
大島小学校	小中連携教育
相島小学校	少人数複式教育
見島小学校	小中連携教育 「地域を学ぶ」「地域に学ぶ」ふるさと学習
川上小学校	地域の人・自然を大切にするふるさと学習
小川小学校	ふるさと学習
多磨小学校	児童一人ひとりの個性・特性を生かした特別支援教育
むつみ小学校	家庭・地域と連携したふるさと学習と学力向上推進
育英小学校	伝統文化の継承と発信
弥富小学校	地域と一体となって推進する特色ある教育
鈴野川小学校	
明木小学校	豊かな言語活動を通じた学力向上研究
佐々並小学校	小中連携教育
紫福小学校	ふるさとの人や自然とふれあいながら真理や学ぶことを愛する心を育てるふるさと教育
福川小学校	健康教育
越ヶ浜中学校	福祉教育 地域の伝統文化継承
木間中学校	小・中連携教育
三見中学校	小中連携教育・地域の伝統文化継承
大井中学校	健康教育及び読書活動によるこころの教育
大島中学校	小中連携教育
相島中学校	
見島中学校	小中連携教育 「地域を学ぶ」「地域に学ぶ」ふるさと学習
萩東中学校	夢をデザインするキャリア教育推進
萩西中学校	地域連携教育・特別支援教育
川上中学校	キャリア教育
田万川中学校	学校・家庭・地域による協働実践 ～一人ひとりを大切にした確かな学びの教育～
むつみ中学校	ふるさとに学び、ふるさとに汗するふるさと学習 基礎学力向上
須佐中学校	地域社会・家庭と協働した教育
明木中学校	地域に学び、地域を愛するふるさと学習
佐々並中学校	小中連携教育
福栄中学校	国際理解教育

新・萩市学力向上推進プロジェクト 基本構想

「新・学力向上推進プロジェクト」がスタートします！

「キャリア教育」と「小中連携」を基軸とし、新たな6つの視点から子どもたちの学力向上に迫ります。

- 「授業改善」と「学習評価」の2つのチームを統合・再編し、新たに「授業改善チーム」とします。
- 「家庭学習」と「生活習慣」、「家庭・地域連携」の3つのチームを統合・再編し、新たに「家庭学習・生活習慣チーム」とします。
- 「学習環境」と「授業外活動」の2つのチームの研究成果を、すべてのチームで共有します。
- 新たに「キャリア教育」、「小中連携」、「コミュニケーション能力育成」、「へき地・複式教育」の4つのチームを新設します。

子どもたちの学力を向上させるために必要な3つの力

子どもの意欲



子どもに将来の夢や希望をあたえ、学ぶ意欲をもたせることは何よりも大切なことです。各チームの研究の目的は、すべてここに集約されると言っても過言ではありません。

教師の指導力



教師の努力なくして子どもの学力向上はあり得ません。「授業改善」、「コミュニケーション能力育成」、「へき地・複式教育」の各チームが、それぞれの視点から教師の指導力向上のための研究を担当します。

家庭・地域の教育力



子どもの学力向上に、家庭や地域の協力は不可欠です。家庭学習の習慣化を図るために、いかにして家庭の教育力を高め、地域の力を学校に取り込むか、「家庭学習・生活習慣チーム」が担当します。

高等学校



中学校



小学校



幼稚園・保育園



幼稚園・保育園から引き継ぎ、高等学校へつなぐ切れ目のない一貫した小中連携教育の推進（「小中連携チーム」が担当します）

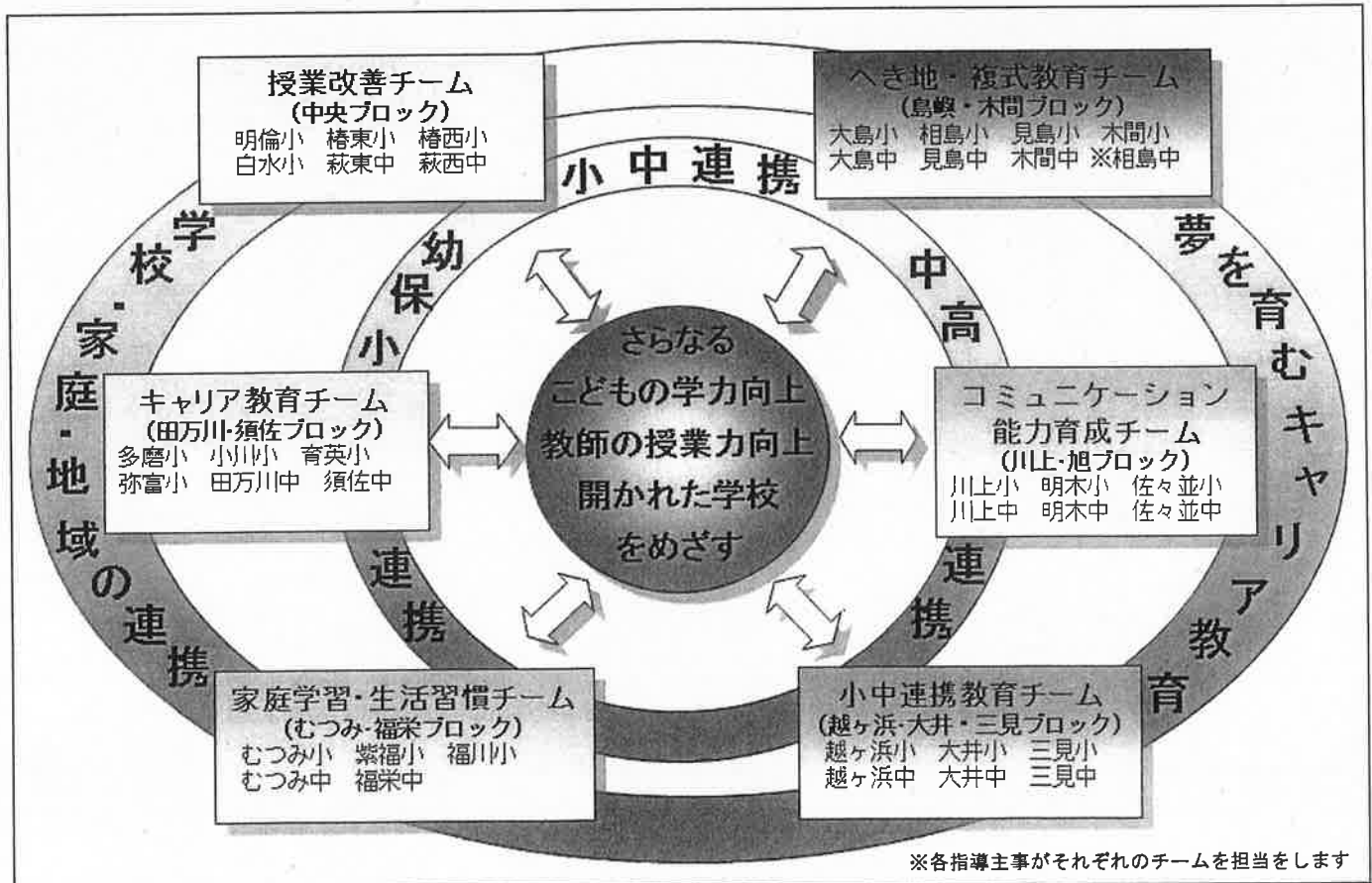
家庭

学校・家庭・地域が一体となって夢の実現をサポートするキャリア教育の推進（「キャリア教育チーム」が担当します）

地域

拠点校の特色を生かしながら、全小中学校で共同研究に取り組みます！

近隣の小中学校で6ブロックを構成し、テーマを絞った中身の濃い研究を進めます。



※各指導主事がそれぞれのチームを担当します

平成23年度 萩市の学校教育の主な施策

～創意と活力に満ちた特色ある学校づくりをめざして～

【基礎・基本の徹底】

- 授業評価と授業改善 ○へき地・複式教育の充実
- 少人数指導(学力向上推進リーダー・推進教員による学力向上への取組) ○標準学力検査の実施



【心の教育・奉仕活動の推進】

- 道徳の時間の確保と充実 ○読書活動の推進
- 松陰読本の活用 ○青少年劇場、巡回芸術劇場の開催
- 人権教育の推進 ○市民一斉清掃への参加



【体力の向上・食に関する教育の推進】

- 新体カテスト結果を踏まえた補強運動の促進
- 食育の推進 ○望ましい生活習慣の形成
- 学校栄養職員研修



【異校種間連携教育の推進】

- 萩市内各幼稚園・保育園・小学校等連携協議会
- 小中連携教育推進事業 ○萩市小中研修担当者会議



【一人一人のよさの伸長】

- 萩市子ども栄光賞、栄誉の記録等の授与
- 萩・阿武科学研究発表会
- 小・中学生のメッセージ



【特色ある学校・開かれた学校づくりの推進】

- コミュニティ・スクールによる実践 ○小中連携教育の推進
- ふるさと学習の推進 ○萩博物館他、諸施設の活用
- 学校評価の推進と適切な情報公開 ○学校HP公開



【生徒指導・教育相談の充実】

- スクールカウンセラーの配置 ○教育相談巡回訪問
- 萩輝きスクール(教育支援センター)での支援
- いじめ・不登校問題等対策協議会 ○生徒指導改善連絡会



【特別支援教育推進体制の整備】

- 就学指導委員会、はばたき教育相談、特別支援補助教員
- 校内・地域教育コーディネーター、関係機関との連携
- 柔軟な支援教室及び特別支援教育サブセンターモデル事業



【教員の専門性の向上】

- 各種研修講座 ○萩市情報教育研修会 ○10年経験者研修
- 特別研修 ○初任者研修 ○管理職・中堅教員研修
- 萩市新採・2年目教員研修 ○萩市学校教育研究発表大会



【教育環境の充実】

- 教材備品・学校図書充実 ○社会科副読本の活用
- 「松陰読本」の配布(小学校4年生以上)
- 萩・情報維新プロジェクト事業(iPadを活用した調査研究)



2 教育委員会事務の点検・評価について

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成20年4月から施行されたことに伴い、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

萩市教育委員会では、法の趣旨に則り、「教育委員会事務の点検・評価」を実施し、次のとおり報告書にまとめました。

(2) 点検・評価の対象事業

点検・評価に当っては、萩市基本構想に沿った施策大綱である「自然、歴史、文化をいかした心豊かなひとづくり」に体系化された「幼児及び学校教育の充実」に基づき、「義務教育の充実」、「教育行政の推進」に係る事業を対象とし、平成23年度事業の中から主要5事業を選定しました。

(3) 点検・評価の方法

- ・ 事業点検・評価シートを作成しました。
- ・ 事業点検・評価シートにおいて、事業目的を明らかにし目標を掲げました。また、事業の実施状況に係る事業成果を検証し、今後の取組について検討しました。

(4) 点検・評価の結果

点検・評価の結果については、報告書を作成し公表します。

3 平成23年度事業点検・評価について

この報告書における点検・評価の対象とした事業は、次の5事業です。

- ・ 特色ある学校づくり推進事業
- ・ 確かな学力育成事業
- ・ 児童生徒支援事業
- ・ 外国語指導助手派遣事業
- ・ 学校施設耐震化事業

事業点検・評価シート

平成23年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	特色ある学校づくり推進事業		
事業目的	地域や学校の特色を鮮明にした教育の実現に向けて、特色ある教育活動推進拠点校（コアスクール）を設定し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進する。		
目 標	各学校において、地域や学校の実態に応じたコアスクール構想を掲げ、特色ある学校づくりに取り組んでいく。		
事業の実施状況	<p>各学校において、地域や学校の特色を活かしてコアスクールを設定し、特色ある学校づくりに取り組んだ。 各校のコアスクールの取組は以下のとおりである。</p> <p>松陰教学：1校 ふるさと学習：10校 食育教育：1校 学力向上：3校 コミュニティー・スクール：1校 小・中連携教育：10校 特別支援教育：3校 少人数複式教育：1校 伝統文化の継承・発信：2校 健康教育：1校 福祉教育：1校 キャリア教育：2校 学校・家庭・地域による協働実践：1校 国際理解教育：1校 （※重複校有）</p>		
事業成果	<p>全ての学校において、地域や学校の実態に応じてコアスクールを設定し、特色ある学校づくりに努めた。その取組については、萩市学校教育研究発表大会や、萩市小・中学校教育研究会における各部会等で実践発表、研究物の展示による紙面発表等を行った。 他校の実践内容を参考に、自校の取組への改善・充実へとつなげることができた。 また、各学校で年度末にまとめる「研究のあゆみ」等にコアスクールの特色ある取組について記載しており、ホームページにも全ての学校の「研究のあゆみ」を掲載して、いつでも各学校の取組について情報提供ができる体制を整えている。</p>		
今後の取組	<p>コアスクールの取組を学校評価の具体的重点取組事項に位置づけ、具体的取組の計画、実践、評価、見直しのPDCAサイクルに基づき、各学校の取組をさらに充実・発展させるとともに、特色を鮮明にし、特色ある学校づくりに定着させる。 また、取組の深化・充実に向けて、保護者や地域住民の理解・協力を得ることができるよう、学校だよりやホームページ等を活用して、双方向の情報提供・情報収集を行う。 また、事業内容については、学校教育目標とコアスクールとの関連を一層意識して計画・実践する。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティー・スクールの言葉の意味がきちんと理解されるようにもっと周知を図る必要があるのではないか。 		

事業点検・評価シート

平成23年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	確かな学力育成事業		
事業目的	市内各小・中学校を地域ごとに新たに6つのブロックに分け、それぞれのチームが課題に対する研修を深化・充実させながら、児童生徒に確かな学力をつける。		
目標	<input type="checkbox"/> 学校体制での授業改善の促進 <input type="checkbox"/> 家庭学習の習慣化 <input type="checkbox"/> 発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進 <input type="checkbox"/> 子どもたちの豊かな学びを支える小中連携の推進 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力の育成 <input type="checkbox"/> へき地・複式の特性を生かした学校学級経営・学習指導の深化・充実		
事業の実施状況	<p>「新・萩市学力向上推進プロジェクト」の6つのチームの取組としては、新たな課題・目標の焦点化、実施計画の策定、各校での具体的な実践を行い、成果としてまとめた。</p> <p>6チームの具体的な実践は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業改善チーム <ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもに学ぶ意欲をもたせる指導方法の工夫・改善 ○キャリア教育チーム <ul style="list-style-type: none"> ・学校間のつながりを大切にした発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の進め方 ○家庭学習・生活習慣チーム <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい家庭学習の習慣を定着させるための方策 ○小中連携教育チーム <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの豊かな学びを支える小中連携のあり方 ○コミュニケーション能力育成チーム <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力を育成し、学ぶ楽しさを創造する方策 ○へき地・複式教育チーム <ul style="list-style-type: none"> ・へき地・複式の特性を生かした学校学級経営と学習指導の深化・充実 		
事業成果	<input type="checkbox"/> 学力の状況 全国学力・学習状況調査の結果をH20とH22を比較すると、H20では(対全国比)小学校で国語A、算数A・Bで下回っていたが、H22では小・中学校とも全て上回っており、特に小学校において大きく伸びてきている。		
	<input type="checkbox"/> 研修の活性化 各チームとも年間4回以上のチーム会議を開催し、校内研修も活発に行われた。また、中学校校区を対象とした小中連携による合同研修会や近隣の同校種による合同研修会等による研修の活性化も図られるようになってきた。		
今後の取組	<p>「萩市学力向上推進プロジェクト」として2年間及び「新・萩市学力向上推進プロジェクト」として1年間を取り組んできた。地域指定による研修体制も軌道に乗り、各校、各地域の主体的な研修へと動き始めている。教職員の指導力向上による「確かな学力の向上」を前提とした各校、各地域のより主体的な課題解決へとシフトしていきたい。</p> <input type="checkbox"/> 6つの水準の浸透を図る。 3年間の各チームの成果を活用し、全ての学校の教育活動の土台となる共通した取組事項を設定し、浸透を図る。		
	<input type="checkbox"/> 学力向上に向けた研修支援の強化を図る。 校内研修会、小中合同研修会、地域合同研修会など学校主体による研修に対し、市教委の研修支援訪問、萩市内指導者一覧の作成及び講師派遣補助、学力向上推進リーダー等の派遣といった支援を行うことによって研修の活性化と教職員の指導力向上を図る。		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査をみると、学力が上がってきており、家庭との連携が少しずつ浸透してきているように思われる。 ・全国学力・学習状況調査の目標設定が曖昧であり、目標設定を明確にした方がいいのでは。 ・小規模校と大規模校との交流を積極的にしてほしい。小規模校は大規模校からいろんなことを学んでほしい。 		

事業点検・評価シート

平成23年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	児童生徒支援事業		
事業目的	不登校及びいじめ等の問題行動の未然防止を促進し、問題を抱えた児童生徒・保護者に対して支援を行う。		
目標	<p>「不登校」の未然防止のための早期対応策を実施し、不登校の発生率を減少させるとともに、「いじめ」、「暴力行為」の絶無に取り組む。</p> <p>【平成22年度発生率】</p> <p>不登校：小学校0.27%、中学校2.18% ※(不登校児童数/全児童数×100)</p> <p>いじめ：小学校0.91% 中学校0.51% 暴力行為：小学校0.00%、中学校0.58%</p>		
事業の実施状況	<p>□萩輝きスクールを拠点とする不登校児童生徒への支援活動の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員6名、非常勤の臨床心理士1名の配置 ・不登校児童生徒及び保護者への通所、家庭訪問、相談室登校への支援 ・臨床心理士によるカウンセリング(年間7回) ・生徒指導・教育相談に関する訪問指導(全小中学校を訪問) <p>□いじめの未然防止と早期発見・早期対応、及び落ち着いた学校づくりへ取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「萩市中学校いじめ撲滅宣言(小学校なかよし宣言)」の見直しと実践 ・小中連携による情報の共有・行事を通しての人間関係づくり ・道徳の授業を中心とする人権感覚の育成 ・教育相談活動の充実・スクールカウンセラーの効果的な活用 <p>□関係機関との連携強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩市子育て支援課、児童相談所等と連携した早期対応 ・小中(高)の情報交換を中心とした各種会議の開催 ・家庭や地域との連携を強化する情報交換会の開催 		
事業成果	<p>「不登校」では若干の減少傾向が見られるものの、ここ数年、横ばいの状態が続いている。また、小学校、中学校ともに、「いじめ」と「校内暴力」の発生率は低い値となっている。</p> <p>各学校とも未然防止、初期段階での対応(早期発見、早期対応)の意識が高まり、小さな事案でも、いじめや校内暴力につながるととらえ、学校として適切に対処していることが伺える。</p> <p>□平成23年度不登校児童生徒数 → 28名</p> <p>□平成23年度萩輝きスクール通所生徒 → 19名(内 学校復帰者数 4名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生(6名)の進路先 → 高校進学 6名(全日制4名 通信制2名) <p>□【平成23年度発生率・出現率】()内は、対前年比</p> <p>いじめ：小学校0.13%(-0.78)、中学校0.30%(-0.21)</p> <p>暴力行為：小学校0.04%(+0.04)、中学校0.37%(-0.21)</p> <p>不登校：小学校0.00%(-0.27)、中学校2.09%(-0.09)</p>		
今後の取組	<p>□「子ども相談・支援室」を設置し、(相談業務、サポート業務)活用を図る。</p> <p>《相談業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不登校等に係る相談、萩輝きスクールとの連携した学校復帰への取組 ○いじめ・不登校、問題行動等のケース会議の開催 ○臨床心理士の相談業務の連絡調整 ○就学前の幼児の状況把握と発達相談や教育相談業務 <p>《サポート業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめ・問題行動等、生徒指導上の諸課題への対応 ○ひきこもり児童生徒に対する家庭訪問等、個別の支援 ○児童虐待に関する対応(子育て支援課、児童相談所との連携) ○中卒進路未決定者の把握と萩ふれあいスペース事業との連携 <p>□不登校未然防止に向けた対策の一層の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校未然防止のための専門家派遣事業の積極的な活用 ・萩輝きスクール相談員の資質の向上を目的とした研修機会の充実 ・萩輝きスクールから学校、家庭、地域への積極的な情報発信 		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動のある子どもに対して関係機関などと連携をとりながら早い時期に対応することが大切ではないか。 ・保育園から小学校、小学校から中学校へと情報を引き継ぐことで、過去に問題行動を起こした児童生徒が再び問題行動を起こした場合にも適切な対応ができる。 ・家庭でもいじめをしてはいけないという家庭教育が大切である。 ・いじめをさせない未然防止が大切である。 		

事業点検・評価シート

平成23年度

施策体系	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	外国語指導助手派遣事業		
事業目的	国際的な視野に立って行動できる児童生徒を育成するため、外国語指導助手を各学校に派遣し、英語教育の充実とともに国際理解教育の推進を図る。		
目標	<p>中学校においては、各学級年間25時間以上の派遣を行い、英語指導の充実を図り、国際交流及び相互理解をめざす。</p> <p>小学校においては、5・6年生については、各学級年間25時間以上の派遣を行い、外国語活動を補助するとともに、異文化に触れ、広い視野に立って考え、行動できる児童の育成を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>萩地域3名、川上・旭地域1名、むつみ・福栄地域1名、須佐・田万川地域1名の計6名の外国語指導助手を雇用し、市内すべての学校に派遣した。</p> <p>各小・中学校とも、学級数を基に派遣回数を算出し、中学校では、1学級あたり平均25.9時間、小学校においては5・6年1学級あたり平均30.5時間の派遣を行った。</p>		
事業成果	<p>学校の規模により若干の違いはあるが、目標である小・中学校とも25時間以上の派遣を行うことができた。</p> <p>小学校では、5・6年の外国語活動を中心に、ALTとのあいさつや基本会話、ゲームを通して関わりを深め、コミュニケーション能力の素地を養うことに貢献している。</p> <p>中学校では、英語の授業を中心に指導補助を行うとともに、その他英語スピーチの指導等、英語教育の充実や国際理解教育の充実に大きく寄与した。</p> <p>小・中学校とも、授業だけでなく、給食や昼休み、学校行事への参加などALTとの交流を通して、子どもたちの異文化理解にもつながっている。また、校内研修としてALTを活用した授業公開や教材作りなど教職員の研修も行うことができた。</p> <p>さらに、長州ファイブジュニアの事前研修や地域での英会話教室等、講師としても貢献した。</p> <p>中学校区に同じALTを派遣することで、中学校へ入学した生徒に安心感を与え、英語学習への意欲的な取組を促すとともに、コミュニケーション能力の向上にも役立っている。</p>		
今後の取組	<p>小・中学校の新学習指導要領の完全実施に対応し、外国語活動及び英語授業の充実のため、今後とも「一日二校派遣」を実施する。</p> <p>できるだけ多くのALTとの活動機会をもつことにより、外国語（英語）への関心及び活動への意欲を高め、諸外国の人や文化を理解できる国際的な視野を養っていく。</p> <p>新規外国語指導助手が、萩市でスムーズに就業できるよう配慮するとともに、各学校や地域事務所との連絡調整に努める。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には小学校1年生から英語の授業が始まってくるように思われるが、小学校低学年でも英語を用いた活動を取り入れることが必要ではないか。 ・小学校教員に対しての英語教育の支援を引き続きお願いしたい。 		

○外国語指導助手派遣事業


外国語指導助手(A L T)派遣状況

(単位 時間)

		学級数	外国語活動 授業時数	ALT 活用 授業時数	ALT 活用授業時数 (1学級あたり)
平成 21 年度	小学校	47 学級	1,224	1,051	22.3
	中学校	67 学級	7,479	1,809	27
平成 22 年度	小学校	45 学級	1,441	1,223	27.1
	中学校	68 学級	7,213	1,817	26.7
平成 23 年度	小学校	46 学級	1,657	1,404	30.5
	中学校	63 学級	7,330	1,637	25.9

事業点検・評価シート

平成23年度

施策体系	教育行政の推進	担当課	総務課
事業名	学校施設耐震化事業		
事業目的	学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす生活の場であるとともに、災害時における地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、耐震性が確保されていない学校施設の整備を実施し、安全・安心な学校教育環境の整備を図る。		
目標	耐震1次診断の結果に基づき2次診断を実施し、大規模地震により倒壊又は崩壊の危険性がある建物（構造耐震指標[Is値]0.7未満）の耐震補強や改築による耐震化を図る。		
事業の実施状況	<input type="checkbox"/> 改築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・萩東中学校校舎改築工事 ・明倫小学校基本設計業務 <input type="checkbox"/> 耐震2次診断事業…11棟（平成22年度繰越事業） <input type="checkbox"/> 補強計画及び実施設計業務 <ul style="list-style-type: none"> ・椿東小学校屋内運動場 ・白水小学校屋内運動場 ・小川小学校屋内運動場 ・田万川中学校屋内運動場 ・須佐中学校屋内運動場 		
事業成果	萩東中学校の校舎改築事業に着手した。また、屋内運動場の補強計画及び設計業務を実施し、耐震補強工事に向け事業の推進を図った。 明倫小学校は、旧萩商業高等学校への移転整備のため、整備検討協議会を立ち上げ、基本設計に向けて検討を図った。 【耐震化率】 平成23年4月1日 55.9% <div style="text-align: center;">  </div> 平成24年4月1日 57.1% （全棟数:91棟…うち耐震性がある建物:52棟）		
今後の取組み	明倫小学校の新築校舎の建設工事に着手し、併せて萩商業高等学校の旧校舎の改修計画を検討し、移転に向け整備を図る。 耐震補強事業については、実施設計を完了した屋内運動場4棟について、耐震補強工事を実施する。 その他耐震性の確保が必要な学校施設について、平成27年度を目途に耐震化の完全実施を図る。		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化率が低いという報道もあったので、早急な対策と整備を望む。 ・学校の安全面からも財源をきちんと確保し、早い時期に整備を完了すべき。 		

4 教育委員会の活動について

(1) 教育委員会会議

平成23年度においては、教育委員会会議を14回開催し、41件の議案を審議、可決しました。内容は、次のとおりです。

・教育行政に関する基本方針に関する事項	3件
・学校運営に関する事項	2件
・教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事項	10件
・教科用図書の採択等に関する事項	3件
・人事に関する事項	11件
・各審議会等委員の任命に関する事項	9件
・教育委員会事務の点検・評価について	1件
・重要伝統的建造物群保存地区の決定等に関する事項	2件

(2) その他の活動

- ・学校訪問 小学校 10校 中学校 7校

小・中学校を訪問し、各学校の教育活動やコミュニティスクールの取り組み等について説明を受け、授業参観での感想や意見を述べ、学校施設の現況についても説明を受けました。

- ・先進地視察

熊本県水俣市及び熊本市の小・中学校を視察しました。

水俣市立袋小学校・水俣市立水俣第一中学校

テーマ「地域に根ざした「エコころづくり」について」

熊本市立日吉中学校 テーマ「日吉中学学力充実プロジェクト（積極的生徒指導）について」

- ・委員研修 山口県市町教育委員研修会

山口県主催の研修会に参加し、研修しました。

【添付資料】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。